

令和2年度

日野高等学校 学校評価（結果・総合評価）

本年度の重点目標

- ・生徒一人ひとりの能力・適性・希望等を生かした進路指導による進路希望の実現
- ・「どの子にもわかる指導・支援」を全教職員で取り組む
- ・部活動の活性化と行事等特別活動の充実

領域	重点評価項目	生徒		教職員		保護者		中間評価 (10月)	3者評価 (3月)		外部評価 (3月)
		評価	%	評価	%	評価	%	評価	評価	%	
1 学校経営	魅力と活力のある総合学科を目指し、全職員が教育改革を推進している。			A (A)	88%			A	A	88%	A
	教育活動の各領域において、学校評価をもとに活動の改善を図っている。			B (B)	76%			B	B	76%	B
2 学習指導	授業規律を確立し、学習意欲の喚起と基礎学力の定着に努めている。	A (A)	90%	A (A)	83%	B (B)	69%	A	A	81%	A
	総合学科にふさわしい授業の改善・創造に取り組んでいる。	A (A)	85%	A (A)	83%	A (B)	80%	B	A	83%	A
3 生徒指導	規範意識の高揚と基本的生活習慣を身につけさせている。	A (A)	91%	B (B)	72%	B (B)	68%	B	B	77%	B
	問題行動の早期発見と防止に努めている。			A (A)	91%			A	A	91%	A
	悩みごとやいじめ等の早期発見と防止に努めている。			A (A)	91%			A	A	91%	A
4 進路指導	生き方・在り方を考えさせ、早期からの系統的な進路指導を行っている。			A (A)	93%	A (A)	81%	A	A	87%	A
	進学補習の強化や求人開拓により、生徒の希望進路の実現に努めている。	A (B)	87%	A (A)	98%	A (A)	81%	A	A	89%	A
5 特別活動等	生徒の実態や学年段階に応じたホームルーム活動や学校行事を適切に行っている。	B (B)	78%	A (A)	100%	A (A)	85%	A	A	88%	A
	生徒会活動・部活動の充実と地域ボランティア活動への積極的な参加を促している。	C (C)	54%	A (A)	86%	B (B)	74%	A	B	71%	A
6 学校図書館	授業における図書館利用の促進と読書指導を強化している。	C (C)	42%	A (A)	93%			A	B	68%	B
	読書の意欲を高めるため、読書週間の設定や定期的な図書館情報を発行している。	C (C)	53%	B (A)	79%			A	B	66%	A
7 保健指導	生徒の健康管理と病気の予防に努め、怪我・病気等への対応を適切に行っている。	B (B)	77%	A (A)	95%	B (B)	70%	A	A	81%	A
	教育相談、特別支援教育体制の推進に努力している。	B	71%	A (A)	95%	B (B)	68%	A	B	78%	A
8 人権教育	差別等のない、明るく、生き生きとした学校づくりに努めている。	A (B)	82%	A (A)	84%	B (B)	73%	A	B	80%	A
	ホームルーム活動、産業社会と人間、総合的な探求の時間等を有効に活用し、人権学習を行っている。			A (A)	93%			A	A	93%	A
9 環境教育	日々の清掃活動や地域との共同清掃をとおして環境学習の高揚や学習を行っている。	A (A)	88%	B (B)	67%	B (B)	62%	B	B	72%	B
	ゴミの分別や減量化、省エネ等に努め持続可能な社会を考え取り組んでいる。			C (B)	56%			C	B	56%	B
10 事務・管理	施設・設備の点検・整備を日常的に行っている。			B (A)	76%			A	B	76%	A
	文書、経理管理を適切に行っている。			A (A)	84%			A	A	84%	A
11 その他 学校の取組み	広報活動を充実させ、地域住民や関係機関、幼小中学校との交流に努めている。			A (B)	93%	B (C)	67%	A	A	80%	A
	高大連携事業等を通じ、学ぶことの意欲と進路意識の高揚を図っている。			B (B)	74%			A	B	74%	A

※中間評価は、教職員のみでの評価

(注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた評価項目の公表

10月 中間評価の公表（8月までの教育活動に対する中間評価）A B C Dの4段階評価で示す。

3月 総合評価の公表（年間の教育活動に対する総合評価。次年度に向けた改善策などを含む。）A B C Dの4段階で示す。

・評価者は、教職員、生徒、保護者、学校評議員等による。（4者の総合評価でない場合もある）

***数字は肯定的回答の割合
()内は、R1年度の評価。**

・A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

ただし、アンケートの結果等を機械的にA B C Dの評価に置き換えるのではなく、学校の現状を真摯に分析・検討し、今後の学校改善につながるよう、適切に評価すること。